

平成30年度入試

【AO入試I(地域貢献人材育成入試)】問題

小 論 文

(生物資源科学部)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は6ページである。解答用紙は4枚、下書き用紙は2枚である。指示があってから確認し、解答用紙、下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙及び下書き用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙は持ち帰ること。

次の問1と問2の両方に解答しなさい。なお、解答は必ず問ごとに指定された解答用紙の所定の欄に記入すること。

下書き用紙は解答の下書き、考えのメモ、文章の構成等、裏面を含めて自由に用いてかまいません。ただし、下書き用紙も提出すること。

問1 次の文章は明治大学農学部教授の小田切徳美氏が、明治大学の情報発信サイトにおいて連載したコラムからの抜粋である。文章を読み、下の問1-1と問1-2に答えよ。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

出典 明治大学ウェブサイト「Meiji.Net」連載コラム

明治大学農学部教授 小田切徳美

- #1 「地方創生」って、都市には関係ないでしょう? (平成 29 年 8 月 18 日)
- #2 田園回帰って、どうしたら上手くいく? (平成 29 年 8 月 22 日)
- #3 地方の生活に関わってみたい!! でも、どうやって? (平成 29 年 8 月 25 日)
- #4 地方での活動を成功させる方法は? (平成 29 年 8 月 29 日)
- #5 都市か地方の二者択一じゃなくても良い? (平成 29 年 9 月 1 日)

- 1) 6次産業(化)：1次産業である農業を、2次産業の製造加工業や3次産業のサービス業と合体させて、農作物の商品としての価値を上げること
- 2) 道の駅：日本の各自治体と道路管理者が連携して設置し、国土交通省により登録された、駐車場・休憩施設・地域振興施設が一体となった道路施設
- 3) クラウドファンディング：不特定多数の人が通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うこと
- 4) キャリアデザイン：仕事のみならず人生を豊かに過ごすために、自分の仕事人生のプランを自ら設計し決定すること

問1-1

農山村が抱える3つの空洞化が、特に山陰地域においてどのような問題をもたらすか、またこうした問題が農山村のみならず都市部にも大きく影響すると言われているのはどうしてか、自身の考えを350字以内で述べよ。

問1-2

二人のゼミ生の例のように、地域コミュニティを活性化するためにはこれまでとは違った視点や組み合わせから生まれる様々なイノベーションが必要であると考えられる。この点を踏まえて、山陰地域の地方創生のためにどのような方法があるか、また、その実現に向けての課題や障害をどのように克服するか、自身の考えを350字以内で述べよ。

問2 表1を参考にして、下記の間2-1と問2-2について答えなさい。

表1 都道府県別働き方、仕事と育児の両立、世帯の指標

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

資料等 <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/info/>、一部改変

- *1 労働基準法では1日8時間、1週40時間を法定労働時間と規定。
- *2 有業者とは、15歳以上の者で、ふだん収入を得ることを目的として仕事をしており、「就業構造基本調査」日(平成24年10月1日)以降もしていくことになっている者及び仕事は持っているが現在は休んでいる者。なお、家族の人が自家営業(個人経営の商店、工場や農家など)に従事した場合は、その家族の人が無給であっても、自家の収入を得る目的で仕事をしたことになる。また、有業率とは、有業者数を有業者数と無業者数の合計で除した割合。
- *3 三世代同居率とは、全世帯数に対する三世代同居世帯数の比率。

問2-1

働き方、仕事と育児、世帯の特徴を350字以内で説明しなさい。

問2-2

山陰両県における「育児をしている女性の有業率」と働き方、仕事と育児の両立、世帯の関連性について350字以内で述べなさい。